

2006年8月10日
株式会社クラレ

LCD（液晶ディスプレイ）の需要急拡大に対応する
偏光フィルム向け光学用ポバールフィルム生産能力の増強について

当社はこのたび、LCD（液晶ディスプレイ）に必須の部材である偏光フィルムのベースとなる光学用ポバールフィルムの生産設備を増設することを決定しました。（年産+3,000万㎡ 完成予定2007年末：増強後の合計生産能力 年産12,100万㎡）

大型液晶テレビや液晶モニターなどの急拡大により、LCD市場は飛躍的に伸長しています。当社は、2005年に光学用ポバールフィルムの生産能力を従来の約2倍（クラレ西条3,100万㎡+クラレ玉島3,000万㎡）に増強し、さらに2007年央の完成予定で3,000万㎡の増強工事を進めていますが、その後の需要急増に対応するため、追加投資による生産能力増強が不可欠と判断しました。

これにより、液晶用偏光フィルム向け光学用ポバールフィルムの生産能力は、2007年末までに、現在の約2倍に増強され、旺盛な需要に的確に対応できる体制を築きます。

生産能力（万㎡/年）

	事業所	現状	増強計画	完工時期	増強後
現状	クラレ西条	3,100			3,100
現状	クラレ玉島	3,000			3,000
現在進行中の増設	クラレ玉島		+3,000	2007年6月	6,000
今回決定した増設	クラレ玉島		+3,000	2007年末	9,000
合計		6,100	+6,000		12,100

今回増設する新系列は、2005年にクラレ玉島に設置した設備と同様、LCDの大型化に対応する広幅品の生産が可能です。さらに、昨年開発した光学性能を大幅に改善した新規光学用ポバールフィルム<VF-PE>など、高度な品質要求にも対応できる設備です。

当社は、今後も液晶用偏光フィルム向け光学用ポバールフィルムのトップ企業として、新技術の開発や品質向上を積極的に進め、LCDの市場拡大に貢献したいと考えております。

設備増設の概要

場 所 : クラレ玉島株式会社 岡山県倉敷市玉島乙島7471番地
(社長:西口 克彦、資本金1,000万円 クラレ100%)
設備能力 : 年産3,000万㎡
完工時期 : 2007年末予定
設備投資額 : 約70億円

以上

この件についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

(株)クラレ CSR・IR広報室 (東京)小山・河村 TEL 03-6701-1072
(大阪)鶴崎 TEL 06-6348-2264